

算 数 (その1)

- ① 算数の問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚です。
② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
③ 答えを出すための式、計算、図などは、と中^までも消さないで残しなさい。

受
検
番
号

1 次の計算をしなさい。ただし、少なくとも1本は、と中式を書きなさい。

(1) $4 \times (9 - 6 \div 3)$

(2) $3.69 \times 5 - 1.19 \times 5$

(3) $\frac{3}{4} + \frac{1}{2} - \frac{7}{16}$

(4) $\frac{15}{8} \times \frac{4}{5}$

(5) $\frac{5}{14} \div \frac{12}{35}$

(6) $0.49 \div 0.35 \times 0.25$

算 数 (その2)

- ① 算数の問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚です。
 ② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
 ③ 答えを出すための式、計算、図などは、と中でも消さないで残しなさい。

受
検
番
号

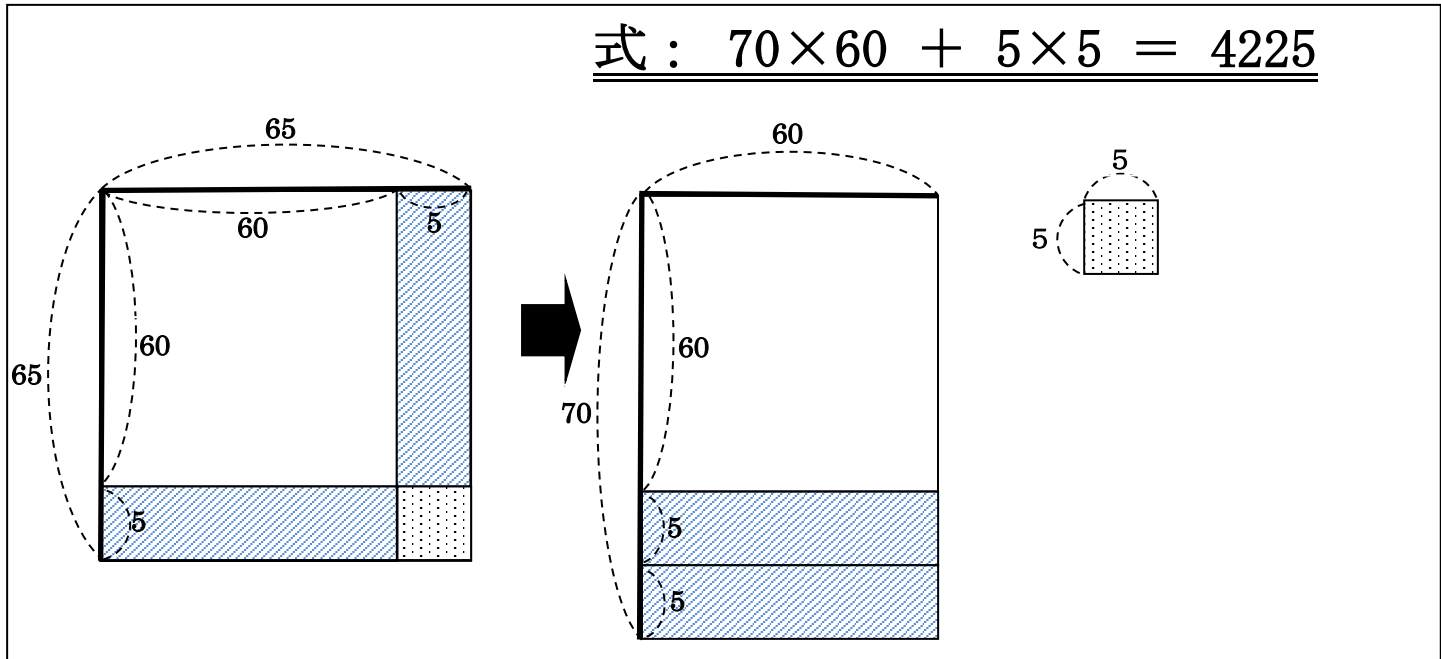
2 次の問いに答えなさい。

(1) A小学校のグラウンドの1周の長さは200mです。A小学校のグラウンド1周の長さは、B小学校のグラウンド1周の長さの $\frac{5}{4}$ 倍です。B小学校のグラウンド1周の長さを求めなさい。

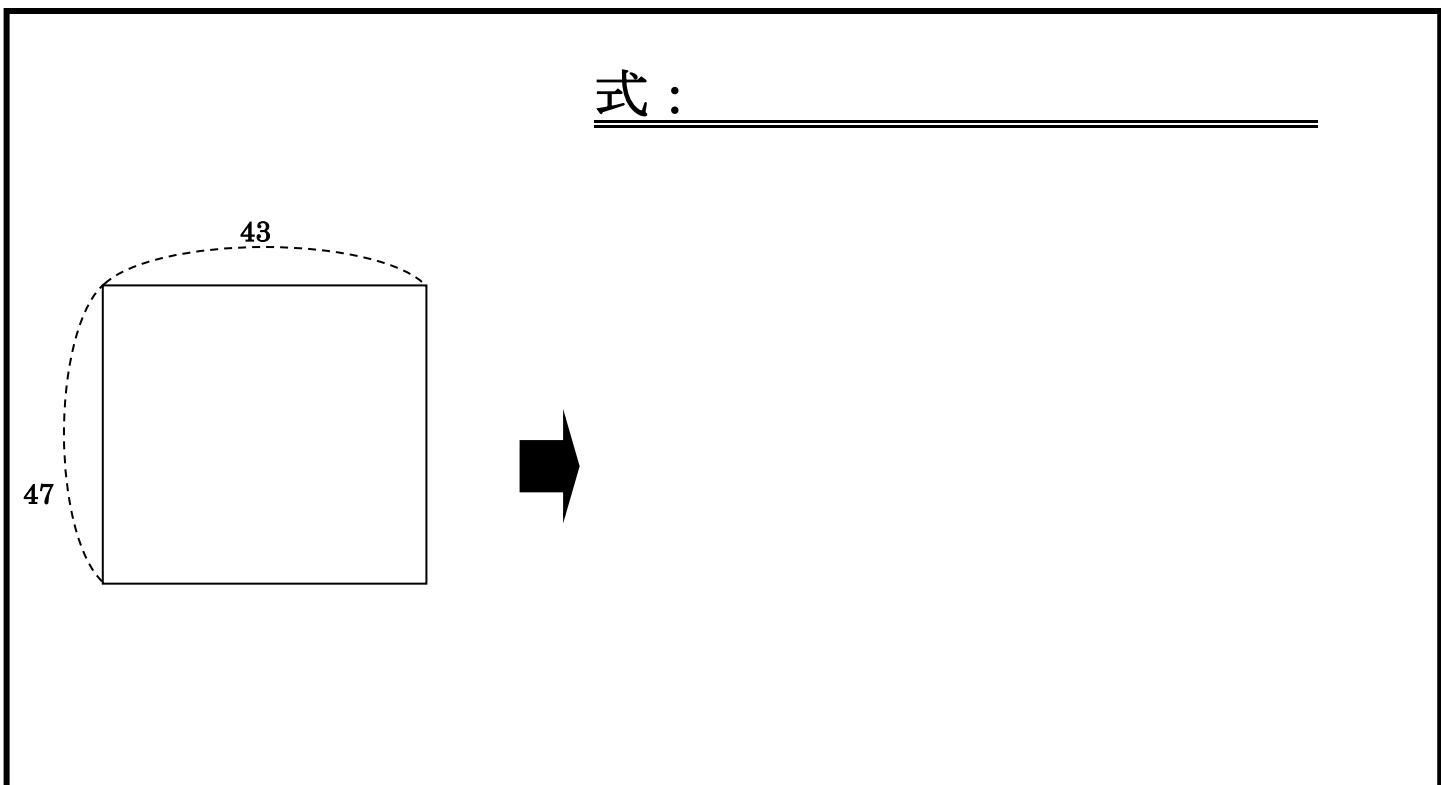
<求め方>

| |
|---|
| m |
|---|

(2) 65×65 の計算を、次のように面積の図を用いて、工夫して計算した。



47×43 の計算を、同じように面積の図を用いて、工夫して計算しなさい。ただし、図の長さや形は正確でなくてよいものとします。



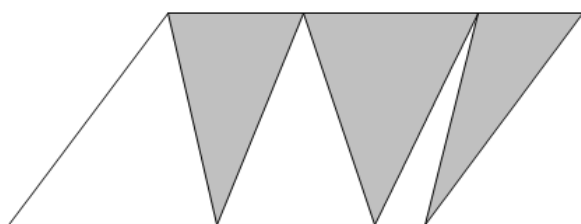
算 数 (その3)

- | |
|--|
| ① 算数の問題は、その1, その2, その3, その4, その5の5枚 ^{まい} です。 ② 答えはすべて の解答らん ^{らん} に書きなさい。 ③ 答えを出すための式, 計算, 図などは, と中でも消さないで残しなさい。 |
|--|

| | |
|----------|--|
| 受検 番号 | |
|----------|--|

3 次の問いに答えなさい。

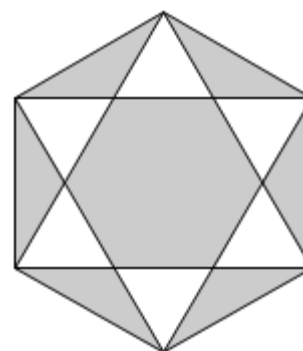
- (1) 底辺が 12 cm, 高さが 6 cmの平行四辺形の中に、下の図のようにいくつかの三角形があります。色のついた部分の面積を求めなさい。



<求め方>

| |
|-----------------|
| cm ² |
|-----------------|

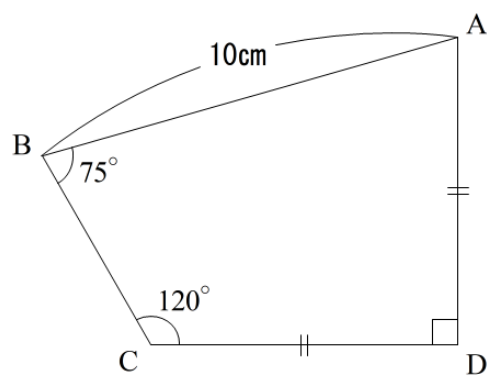
- (2) 正六角形の内部で、下の図のように頂点を直線で結んだ図形があります。白い三角形は、すべて合同な正三角形です。もとの正六角形の面積が 90 cm² のとき、色のついた部分の面積を求めなさい。



<求め方>

| |
|-----------------|
| cm ² |
|-----------------|

- (3) 下の図のような四角形 ABCD で、AB=10 cm, AD=CD であるとき、四角形 ABCD の面積を求めなさい。



<求め方>

| |
|-----------------|
| cm ² |
|-----------------|

算 数 (その4)

- ① 算数の問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚です。
② 答えはすべて の解答らん^まに書きなさい。
③ 答えを出すための式、計算、図などは、と中でも消さないで残しなさい。

受
検
番
号

- 4 ある動物園に、おとな3人と子ども1人で入園するときの入園料は3800円です。同じ動物園に、おとな1人と子ども3人で入園するときの入園料は2600円です。この動物園に、おとな4人と子ども2人で入園するときと、おとな3人と子ども4人で入園するときでは、どちらがどれだけ安いかを求めなさい。

<求め方>

で入園するときの方が 円だけ安い

- 5 下の2つの式ア、イの答えは、どちらがどれだけ大きいかを求めなさい。

ア 76549823×76549824

イ 76549822×76549825

<求め方>

の方が だけ大きい

算 数 (その5)

- | | | |
|---|------------------|--|
| ① 算数の問題は、その1、その2、その3、その4、その5の5枚です。 ② 答えはすべて の解答らん ^ま に書きなさい。 ③ 答えを出すための式、計算、図などは、と中でも消さないで残しなさい。 | 受 検 番 号 | |
|---|------------------|--|

6 1～9の数が、それぞれ1つずつ書いてある9枚のカードがあります。次の問いに答えなさい。

(1) 下の8つの□すべてに1枚ずつカードをおいて、4けたの数から4けたの数を引く式をつくります。この式の答えの数を大きい順にならべたとき、大きい方から4番目となる数を求めなさい。

例えば、答えの数が大きい順に、24, 23, 23, 22, 21, …と並んでいた場合、大きい方から4番目の数は21であることとします。

$$\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} \begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array} =$$

<求め方>

(2) 下の6つの□すべてに1枚ずつカードをおいて、 $(\text{分数}) \times \{ (\text{分数}) - (\text{分数}) \}$ の式をつくります。その答えが最も大きくなるようにカードをおいたとき、式の答えを求めなさい。ただし、□にカードをおいて式をつくる際には、分母が1になってもよいし、約分されていない分数になってもよいものとします。

$$\frac{\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array}} \times \left(\frac{\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array}} - \frac{\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \square \\ \hline \end{array}} \right) =$$

<求め方>

